

別紙標準様式（第7条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度第1回 枚方市生涯学習推進審議会
開 催 日 時	令和4年12月28日（水） 10時00分から 11時20分まで
開 催 場 所	Web会議（市役所別館4階 特別会議室）
出 席 者	渥美公秀会長・富岡量秀副会長・石間毅史委員・岡野亜紀子委員・岡村富美代委員・小林峻委員・坂本一彦委員・橋本有理子委員・早川孝委員・安光美香委員
欠 席 者	—
案 件 名	(1)生涯学習推進基本指針の進捗状況等について ①「生涯学習施策」推進に関するアンケート ②事務事業実績測定 (2)生涯学習市民センター・図書館の指定管理者の更新 (3)生涯学習市民センターの課題について ①複合施設における連携事業 ②Wi-Fi環境の整備
提出された資料等の名	資料1-1 生涯学習推進基本指針進捗状況 資料1-2 主な事務事業・所管課一覧表 資料1-3 生涯学習推進基本指針進捗状況調査表 資料1-4 スプリングひらかた パンフレット 資料1-5 総合文化芸術センターに移行した事業 資料2 生涯学習市民センター・図書館の指定管理者の更新について 資料3 複合施設における連携事業について 資料4 生涯学習市民センター等のWi-Fi環境の整備について 参考資料1 枚方市生涯学習推進基本指針 参考資料2 「生涯学習施策」推進に関するアンケート 資料1-1 生涯学習推進基本指針進捗状況 資料1-2 主な事務事業・所管課一覧表
決 定 事 項	・生涯学習推進基本指針進捗状況(令和3年度実施)について確認を行った。 ・生涯学習市民センター・図書館の指定管理者の更新について報告を行った。また、生涯学習市民センターの課題について審議を行い、委員の意見を踏まえ、今後の施設運営に生かしていくこととした。
会議の公開、非公開の別及び非公開の理由	公開
会議録の公表、非公表の別及び非公表の理由	公表
傍 聴 者 の 数	0人
所 管 部 署 (事 務 局)	観光にぎわい部 文化生涯学習課

渥美会長	<p>< 1 開会 ></p> <p>それでは定刻になりましたので、只今より「令和4年度 第1回生涯学習推進審議会」を開催いたします。</p> <p>本日、審議会を進めていくに際しまして、会議の公開ルールや会議録の対応などについては従来どおり、本審議会の傍聴について、原則として認めるものとし、会議録は要点筆記で作成し、公表させていただきたいと考えております。</p> <p>本日は、案件としまして、「(1)生涯学習推進基本指針の進捗状況等について」、そして「(2)生涯学習市民センター・図書館の指定管理者の更新」についてご報告いただき、「(3)生涯学習市民センターの課題について」をご審議いただきたいと思います。</p> <p>それでは、議案審議に先立ちまして、事務局から組織体制の変更について、お話しただけということですので、よろしくお願いします。</p>
事務局	<p>事務局の組織体制につきまして、令和4年度の人事異動により、新しい部長と次長が着任しておりますので、この場をお借りしまして紹介をさせていただきます。</p> <p>観光にぎわい部長の野田でございます。</p> <p>観光にぎわい部次長の中川でございます。</p>
事務局	<p>どうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>事務局からの紹介は以上です。</p>
渥美会長	<p>それでは、事務局から本日の出席委員の報告等をお願いいたします。</p>
事務局	<p>本日の審議会はWeb会議となっておりますが、富岡副会長・坂本委員・早川委員・石間委員については、会場にお越しいただいております。</p> <p>本日の委員の出席状況ですが、委員は10名中10名のご出席をいただいておりますので、「枚方市附属機関条例」第5条第2項に規定する「2分の1以上の出席」を満たしており、この審議会が成立していることをご報告申し上げます。なお、本日の傍聴者は0名です。</p> <p>続きまして、お手元の資料の確認をさせていただきます。資料は、次第、資料1～4、なお、資料1につきましては、資料1-1から資料1-3までございます。そして参考資料1及び2となっておりますが、過不足等はございませんでしょうか。</p> <p>(資料の不足等なし)</p>
渥美会長	<p>< 2 案件 ></p> <p>それでは、議案に入ります。<案件(1)生涯学習推進基本指針の進捗状況等について>を議題とします。事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料1-1「生涯学習推進基本指針進捗状況」</p> <p>資料1-2「主な事務事業・所管課一覧表」</p> <p>資料1-3「生涯学習推進基本指針進捗状況調査表」</p> <p>資料1-4「スプリングひらかた パンフレット」</p> <p>資料1-5「総合文化芸術センターに移行した事業」に基づき説明。</p>

渥美会長	<p>只今、事務局より生涯学習基本指針の進捗状況等について説明がありました。御意見・質問のある方がいらっしゃったらお願いします。</p>
石間委員	<p>2つ質問があります。 1つ目はスプリングという新しい事業が始まったということですが、こちらの参加状況、あるいは参加された方の反応やご意見を知りたいです。 もう1つは、指定管理者による自主事業というのは位置づけとしてどういうものなのか、教えていただきたいです。</p>
事務局	<p>スプリング事業に関しましては、現在も進行中の事業でございまして、令和4年・5年で事業が完成することになっており、参加状況、ご意見についてはまとめ切れていないところでございます。 指定管理者による自主事業についてですが、市の方で指定して実施する事業と、指定管理者が自主的に実施する事業の主はこの2本がございまして。市の方で指定して実施する事業といたしましては、例えばサンプラザ生涯学習市民センター内にあった市民ギャラリーで実施していた事業や財団が実施していた事業については指定管理者に引き継ぐ事業として、市と共催という形で実施しています。また、指定管理者が自主的に実施する事業といたしましては、指定管理料の事業費の中で、指定管理者が企画・提案して進めていくもので、この2つが自主事業となります。</p>
石間委員	<p>はい。ありがとうございます。</p>
坂本委員	<p>今、それぞれの生涯学習市民センターで実施している自主事業は、活動委員会と指定管理者との間で十分協議をされた上で実施しているのかどうか気になります。指定管理者と地域の活動委員会がどういう形で相互作用して活かされているのか教えて下さい。 もう1点、前回も生涯学習施策の推進に関するアンケートで利用者と参加者に対してアンケートを取ること自体は一つ意味があることだと言っていました。ただ、一般市民が生涯学習に関してどういう意見を持っているのか、「もっとこういうことをして欲しい」といったことを聞くように、少し踏み込んだ内容でやっていただけないかと思えます。 それからもう1つ、利用者満足度に関する数値ですが、「満足」、「非常に満足」というのは参加されているのでいいのですが、不満を持っておられる方もいらっしゃいます。満足した人をどんどん増やすということが重要なのはわかるのですが、不満に思っておられる方は、どういうことを不満に思っておられるのか。これをアンケートの中で「やや不満」「不満」にチェックされた方に、具体的に何が不満なのかということを書いていただけるように、アンケートの改善をしていただけないかなと思えます。</p>
事務局	<p>生涯学習市民センターでの事業についてですが、枚方市の生涯学習市民センターには、市民の方が中心となって事業等を実施される活動委員会という組織体があり、指定管理者が自主事業を企画する際には、活動委員会に事前に諮るなど情報共有等の連携をしております。しかし、課題として、総合文化芸術センターと生涯学習市民センターの連携ができていないことがあります。本市といたしましては、総合文化芸術センターは発表の場であり、その発表に伴う練習の場として、グループで集まり活動していただいたく場所が生涯学習市民センターだと考えております。生涯学習市民センターと総合文化芸術センターの指定管理者が直接話し合っ、例えば、こういった事業を活動委員会で実施するので、その発表の場に総合文化芸術センターを使わせてほしい、といったよ</p>

	<p>うな連携ができていません。</p> <p>来年の3月に本市の4人の文化芸術アドバイザーと生涯学習市民センター、総合文化芸術センターの館長・所長等が集まって、生涯学習市民センターと総合文化芸術センターの連携についてどのようにすればよいのか話し合いを始めます。</p> <p>2点目の生涯学習のアンケートの件でございますが、生涯学習市民センターを普段から利用しない方の意見も聞けるように、WEB上でのアンケートを実施するとともに、市のHPと各センターで毎月発行しているセンターだよりにQRコードを付けさせていただいて、センターを利用されたことのない方に対してもアンケートに参加できる状況にはしております。ただし、まだまだサンプル数が少ない状況ですので、もっと広報活動をさせていただき、回答数を多く集められるよう努力していきたいと考えております。</p> <p>それからもう1点、どこかに○を付けるだけのアンケートになっておりますので、具体的に記述できるのは、最後の「お気づきの点などがございましたら、ご自由にお書きください」という箇所のみになっております。我々としても、今後、なぜ満足なのか、なぜ不満なのか、といったアンケート結果をしっかりと分析するにあたり、単なる数字だけではなく、そこからどう改善していくのかというのを具体的に書いていただいた方が進めやすいと思いますので、来年度のアンケートから、各問に対して記載できる欄を追記させていただきたいと思っております。</p>
坂本委員	<p>生涯学習市民センターがそれぞれの地域にあると思うのですが、気になるのが、民間企業が指定管理者になって運営されていますが、それぞれの地域課題、地域の歴史資源やその地域の特色を生かした自主事業について、もう少し力を入れていただきたいということです。総合文化芸術センターの事業や、生涯学習市民センターとの連携を図っているのはよくわかったのですが、もうちょっとその地域に応じたものを指定管理者と活動委員会が一緒になって作り上げていければ、もっともっと市民の参加が得られるんじゃないかと思っております。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。我々も坂本委員がおっしゃっていただいた課題、もっと地域に根差した施設にして利用者を獲得していくというのは大切な観点だと思っておりますので、今後、指定管理者と話を進める中でいただいた意見を活かしていきたいと思っております。</p>
渥美会長	<p>岡村委員どうぞ。</p>
岡村委員	<p>坂本委員の1点目の質問についてですが、私は蹉跎生涯学習市民センターで活動委員会をしております。そこで実施している事業は新しくできた総合文化芸術センターに直接つながっているということはまだないのですが、蹉跎生涯学習市民センターで活動しているサークルが総合文化芸術センターで発表するということはできています。</p> <p>もう1点、地域の問題を取り上げた事業を活動委員会がすれば、センターにもっと人が集まるというご指摘ですが、活動委員会の中でも、どうすれば地域の人たちに集まってもらえるかというのを本当に深く考えています。自分たちのテリトリーの限界も感じており、たくさん意見を出す中で、時間をかけて話し合いながら事業を実施しているというのが現状です。</p> <p>それぞれの施設に特色があるというのは確かで、蹉跎と楠葉は違いますし、蹉跎と津田も違います。南部はもっと違います。また、活動委員会事業と指定管理者の自主事業の違いは大きいと感じています。</p> <p>先ほど事務局が説明くださったのと重複しますが、やっている立場として、</p>

	<p>お話を聞いていただきたいと思い、発言させていただきました。</p>
渥美会長	<p>アンケートですが、得点はすごく計算されていますし、項目で自由記述欄を増やすのはいいのですが、現在の回収率はどれくらいなのでしょう。</p>
事務局	<p>回収率ですが、必ず返してほしいという形ではなく、「できればご記入をお願いします」というスタンスでアンケートを配布させていただいておりますので、何人に配って何人から回収したという数字は把握できておりません。今後の課題とさせていただけたらと思います。</p>
渥美会長	<p>アンケートの内容は先ほどの坂本委員のご発言のとおりなのですが、アンケートの結果を数字に置き換えて伸びている、伸びていないということを見るためには、その時の信頼性をどう考えたらよいかというのが気になりました。ナンバリングの必要性まではわかりませんが、アンケートそのものを改良いただくことと同時にアンケートを受け取ったほとんどの方が答えているのか、答えることに抵抗がない方だけの意見なのかは考えてみた方がいいかもしれません。数だけそろえるのではなく、岡村委員からありましたように、実際にお使いいただいている方の実感とあっているのかどうかというのが一番大事な点かと思しますので、次回数字を見るときに参考にできればと考えました。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。来年度に向けて、アンケート用紙の改良とサンプルの集め方を事務局の方で考えさせていただき、ご意向に沿えるよう努めてまいります。</p>
小林委員	<p>指定管理者との連携ということが上がっていましたが、今後、市と指定管理者の連携をよりスムーズにする具体的な計画はありますか。総合文化芸術センターでは年間 100 本の事業を実施しているということですが、僕が関わっている事業で少し支障が出てきているということもあり、それが解消するのか知りたいです。</p>
事務局	<p>総合文化芸術センターは開館してまだ2年ということもございまして、なかなかきめ細やかなところまでご配慮できていない部分も多々あるとは思っております。現在、一つ一つのご指摘に対して真摯に向き合っているところです。</p> <p>今も市と指定管理者で、できる限りの連携を図ってはいますが、市の方が市民と接してきた時間も長く、今も様々な形でお話しする機会も多い中で、市が指定管理者と市民との関係をより深めていく橋渡しも含めて、フォローをしていくことで、小林委員がおっしゃっているように、指定管理者と出演者の間で生じている齟齬を埋めていくことができると思っています。よりよい事業を展開できる進め方を今後も模索していきたいと思っております。</p>
小林委員	<p>ホールができてからまだ浅いということもありますので、いろんなことがこれからだとは思いますが、周りでネガティブな意見を聞いたりします。市として、いい方向に行けるような考えがあるということで安心しました。</p>
早川委員	<p>私は生涯学習活動事業と中学校のクラブ活動が連携できないかなと思いました。公立の中学校の部活指導、特に週末については地域に任す方向で今動いており、学校内で活動することにこだわらないとニュースを見ました。ということは、この生涯学習活動の拠点で活動されている方が指導者となって、中学生を指導することも可能ではないかと思いました。テレビのニュースでやっていたのは、体育系の部活のことだとは思いますが、例えば、楽器の演奏活動を</p>

事務局	<p>されている方も結構多いと思いますので、中学校でそういう活動をされているところとうまくコラボできれば、地域の世代間交流にもつながる、生涯学習市民センターでの発表会もできる、国が目標としている先生の負担の軽減にもなる、そういうことができないかなと思いました。</p> <p>実現するためには、教育委員会とまずは情報共有し、何回も話をしていく必要があるかと思うので、今すぐにはできないとは思いますが、もし、それが一部でも可能になれば、生涯学習市民センターにも人がいっぱい来るでしょうし、今まであまり来なかった中学生もセンターに出入りすることになりますので、地域での世代間交流ということも増えるのではないかと思います。</p> <p>その件に関しては、実は教育委員会とはすでに話が始まっております。早川委員のおっしゃっているようにスポーツが中心ではありますが、先生は土日出勤して指導することが今後難しいという中で、地域の方で見ていってほしいという文科省の通達もあり、本市としても、教育委員会と文化生涯学習課、スポーツ振興課で協議を始めている状況です。継続していく必要がありますので、個人の方の思いで始めてしまうと地域格差も出てくると思いますし、その人が辞めたら次からどうなるのか、など様々な問題がありますので、組織としてしっかりフォローすることが大切ではないかと思っております。</p> <p>持続可能な形で実施していくことが課題となっておりますので、これから話し合いを重ねていきます。今日いただいた貴重な意見も踏まえ、教育委員会と話をする中で参考にさせていただきたいと思います。</p>
渥美会長	<p>富岡先生いかがでしょうか。</p>
富岡副会長	<p>生涯学習の捉え方の枠組みを少し広くといますか、現状、あるいは今後どういう風にしたいのかということの共有というところで、今、早川委員がおっしゃられたようなことをどんどん取り入れられていくのが非常に大切かなと思いますし、利用者の増加をどのようにしたらよいかという悩みの解消にもつながるのではないかと思います。</p> <p>アンケートの話もありましたが、坂本委員のおっしゃることはごもっともだと思います。その辺りがわかる進捗管理とリンクしたアンケートの内容になれば説得力も増えますし、市民の方のニーズに必ずしも答えるというだけではなく、いわゆる選択と集中という考え方でいうと、ニーズを把握した上で今回はここをやらせてください、という説得にもなってくると思います。その把握がないと、勝手にリンクしていないものを行っているのではないかと、という意見が出てくることとなりますので、ニーズをしっかり把握したうえで、でも今年はこのやらせてください。という説明になってくると、非常に説得力もありますし、わかりやすくなると思います。</p>
渥美会長	<p>今回の案件1「生涯学習推進基本指針の進捗状況等について」ですけれども、進捗状況のやり方はもちろんですが、把握の仕方やそれが何に向けてということ、次への期待、こういったことが出てきましたので、大変良い議論になったのではないかと思います。ありがとうございます。</p> <p>それでは、続きまして<案件の2「生涯学習市民センター・図書館の指定管理者の更新」>、<案件3「生涯学習市民センターの課題について」>を一緒にご説明してください。</p>
事務局	<p>資料2 生涯学習市民センター・図書館の指定管理者の更新について 資料3 複合施設における連携事業について 資料4 生涯学習市民センター等のWi-Fi環境の整備について</p>

	に基づき説明
渥美会長	それではこれらの案件につきまして、委員のアイデアですとか、Wi-Fi 環境の整備の必要性について問われていますので、各委員の皆様からアイデアやご意見をいただきたいと思います。
岡村委員	現在、生涯学習市民センターのロビーを中心に Wi-Fi 設備が整っているのは確かなのですが、部屋によっては、Wi-Fi の環境がよくないです。部屋の中で人形劇をするときや、牧野施設で人形劇フェスティバルという事業を開催するときに、特に若い世代の人形劇をする人たちは、スマホなどで音楽を流しますので、Wi-Fi が届くように配慮していただきたいと思います。センターの中のいかなる場所でも Wi-Fi が使えるようにしてほしいというお願いです。
事務局	現状、Wi-Fi 環境が整っているのはロビーだけになっております。各諸室やホールへは施設の中継器の必要性や構造上届きにくいという問題もあるからです。 来年度以降の指定管理者の提案といたしましては、ポケット Wi-Fi を貸し出して、各部屋の Wi-Fi 環境を整えていくという提案もいただいており、今後実施に向けた話し合いを進めていく状況でございます。Wi-Fi の環境を整えるには費用が思った以上にかかるというところもございまして、この辺りがネックとなっているのが事実でございます。本市といたしましては、国の補助金を活用して、指定管理者や直営に関係なく、できるだけ各諸室でご利用いただける環境づくりを進めていきたいと思っております。
富岡副会長	Wi-Fi に関しては、岡村委員がおっしゃるように、劇やイベントの音源は学生などはスマホから取得します。 大学生だけでなく、中高生もやはり集まるときは Wi-Fi がしっかり通るかどうかが集まる場所を選びます。例えばみんなで勉強する場所を探すときに、ショッピングセンターのフードコートでしていても「ここの Wi-Fi 使えないから、別の使いやすい場所に行こう」と Wi-Fi の環境を重要視しています。若い世代の人たちに施設に来てほしいと思ったとしても、ロビーにだけ Wi-Fi 環境があったところで、何もできないので、来ないわけです。 若者たちは、スマホを使いながら勉強する傾向が強いです。そういう意味では、センターのお部屋や図書館で Wi-Fi が使えるというのは中高生あるいは大学生は重視するところだと思います。彼らは大人と違って、毎月使える通信量が決まっていますので、通信量を気にせずに、Wi-Fi を使えるところで通信を利用したいという気持ちがあります。大学では全館、あらゆるところで使えるように整備しています。特に若い世代に来てもらうという点では、Wi-Fi 環境というのがとても大きいと思います。
早川委員	今、ポケット Wi-Fi の話が出たのですが、ポケット Wi-Fi はあまりデータを飛ばしたりできないんです。最近通信容量の大きい Wi-Fi ルーターが安価で購入できると聞いています。ポケット Wi-Fi で容量の小さいものを購入されるのであれば、そういったものもご検討いただければと思います。
事務局	ありがとうございます。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、センターの多様な使用形態に対応するために Wi-Fi 環境の整備が必須になっていると感じております。今後、指定管理者と話を進める中で、容量の大きいものを導入していただくよう伝えていきたいと思っております。

富岡副会長	<p>Wi-Fi のところは先ほどのとおり進めていただくと同時に、複合施設の連携と関係してくるかもしれませんが、それを呼び水として、図書館、センターに来た時に、実際に本に触れることや、面白い本を見つけるといったアナログな魅力付けをもっとすることが大切だと思います。</p> <p>インターネットは便利ではありますが、問題もあります。Wi-Fi 環境を呼び水として、例えば図書館に行ってみたら、面白い本やきれいな本があったという発見に繋がったり、センターに行ったときに、夏休みの宿題の工作を実際にそこで人とかかわりながら作ってみる面白さを味わうことをセットで魅力付けできると、Wi-Fi 環境が一つの呼び水となり、そこで実物に触れる面白さであるとか、人とかかわる楽しさとかの提供を同時に図っていただきたいです。そうすることが、これからの子どもたちの豊かな育ちという点で大事な事かなと思いますので、両方を大事にしていだければと思います。</p>
事務局	<p>現在コロナで感染者数が増えつつあるものの、生涯学習市民センターでの利用制限は、観客が大声を出す場合のみ定員の半分としているだけで、それ以外は通常通りご利用いただいている状況です。</p> <p>例えば、生涯学習市民センターで工作教室を実施する際、連携事業として図書館がそれにまつわるような本を並べて、工作をするだけではなく、興味の湧いた本を借りていただくといった取り組みを進めていきたいと考えています。それに加えて、ウェブといった今の時代に即した形というものもありますが、実際お越しいただいて活動していただくことで、家での自身の活動に繋がっていただくというのが、生涯学習市民センターの使命なのかなと思っておりしますので、副会長にいただいたご意見を踏まえて、両輪でしっかりやっていきたいと思ひます。</p>
渥美会長	<p>私からは、Wi-Fi の問題点についてセキュリティ、安全性があるかと思ひていまして、例えば枚方市の回線に繋がってしまうと、情報を何でも持ち出されたりします。これまでもウイルスが撒かれて病院の運営ができなくなったということがありました。Wi-Fi を設置するのは当然のことかと思ひています。電気が通っているとか、水道が使えるとかと同じレベルになっている中で、今頃検討しているというのは遅すぎると思ひますけれど、一方で、システムとして安全にしておかないと皆さんに安心してご利用いただけないので、そちらの方にもお金をかけた方がいいのではないかと思ひます。設置は当然のこととしてです。</p>
渥美会長	<p>他にはいかがでしょうか。</p> <p>(意見等なし)</p>
渥美会長	<p>ないようですので、指定管理者による連携事業の実施等に関して、皆様から出た意見をもとに事務局でまとめてもらえればと思ひます。</p> <p>他に事務局から何かございますか。</p>
事務局	<p>部長の野田より最後にご挨拶させていただきます。</p> <p>(部長あいさつ)</p>
事務局	<p>本日の会議録については事務局で案を作成し、委員の皆様にご確認させていただくため、メールで送付させていただきますので、よろしくお願ひいたします。集約した御意見については、会長と事務局に一任いただき、まとめて公表</p>

<p>渥美会長</p>	<p>していきたいと思います。</p> <p>それでは任期最後の会議になるということもありますので、最後に何かある方はいらっしゃいますか。</p> <p>(意見等なし)</p>
<p>渥美会長</p>	<p>それではこれをもちまして終了とさせていただきます。ありがとうございました。</p>